



曹洞宗山形県第二宗務所

〒993-0052

山形県長井市新町10-6

TEL0238-83-3369 FAX0238-83-3453

発行責任者 英 元 弘

印 刷 (株)川島印刷

TEL0238-21-5511



東日本大震災犠牲者慰霊(仙台市閑止地区)

年のはじめに



宗務所長

英 元 弘

明けましておめでとうございます。管内ご寺院諸老師始め檀信徒皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたことと拝察いたします。

旧年は、ただひたすらに行事を消化することで精一杯でした。役員、関係皆様のご支援とご協力により無事乗り越える事が出来ましたことを心から感謝申し上げます。

本年、宗務所梅花講創立五十周年に当たります。記念奉詠大会・記念誌発行の準備を進めております。また、第二宗務所が当番となり、東北管区寺族会研修会が開催されます。さまざま大きな行事を控えておりますが、ご期待に添えるよう鋭意準備を進めています。

干支頭の子年。お一人おひとりが良きスタートをお切りくださいますように。そして大きな災害に見舞われませんように。切に願って止みません。就任二年目、役員一同、一層気を引き締めて参りますので、変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。

東北管区集会
 — 上山温泉「古窯」 —

今年第二事務所が東北管区長及びその事務局に当たり、この管区集会を企画運営することになり、六月六日〜七日、東北地区の教区長・護持会長・宗務所役職員の参加で標記集会を上山温泉「古窯」にて行いました。

なお事務局として、東北各県宗務所及び宗議会議員様・曹洞宗宗務総長様や各部長様等にご案内し、



東北管区長 英所長が挨拶しております



木田俊之さんのトークショー。歌声に感動

三百十八名の参加となりました。会では今後の護持会の在り方を確認し互いに懇親を深めました。集会の講師としては、筋ジストロフィーの演歌歌手木田俊之さんをお招きし、トークショーを開催しました。木田さんは青森県のご出身で、三十歳ごろに難病に罹り、それから車椅子の生活をされております。当日は奥様の運転と介助によってステージに立たれ、含蓄のあるお話と演歌を披露して頂き、参会者一同その歌声とお話に心を打たれ、感動的な会となりました。

東北管区人権啓発研修会
 — 仙台市閑上地区視察 —

九月十日〜十一日、今回は最初秋保温泉において、石巻市の命の語り部の方から東日本大震災の被災の話をお聞きし、大阪大学の教授から仏教者としての寄り添い支援についてのお話を頂戴し、翌日はバスで閑上地区に移動し被災地の視察を致しました。

閑上地区では東禅寺様を訪問しましたが、ここは前住職御夫妻が津波で犠牲になられております。今では、本堂も立派に再建され、当時副住職で、市外におられ難を逃れた現住職様のお話をお聞きし、被災者の物故者供養を行いました。



再建された東禅寺様



東禅寺様で、震災被災物故者法要を



名取市震災メモリアル公園。塔の高さが津波の高さということです

東日本大震災からもう八年半にもなり、記憶が次第に遠ざかっていくようです。しかし、この災害と犠牲者の記憶と教訓を風化させてはなりません。永遠に。

曹洞宗婦人会東北管区研修会

令和元年七月十七日～十八日

講義Ⅰ

かみのやま温泉古窯を会場に東北管区研修会が開催されました。来賓として東北管区長（第二宗務所所長）様・曹洞宗東北管区教化センター統監様・東北各県宗務所所長様・全国婦人会副会長にご案内し会員の方を含め約四百名の参加となりました。



講義Ⅱ

ピアノスト 南陽市高福寺副住職 佐藤慈成様、ソプラノ歌手 佐々木寿子様、チェリスト 横溝宏幸様の三名による「音の架け橋」 トリオで紡ぐ「ハーモニー」



講義Ⅲ

川西町出身劇作家 故井上ひさし氏夫人で、料理研究家である井上ユリ様による「思い出は食欲と共に」



講義Ⅳ

長井市洞松寺住職 小野 卓也老師 「ウサギの布施とボードゲーム」



曹洞宗婦人会「会員の誓い」でもある

- ★おしめない心で
どうぞさしあげます（布施）
 - ★やさしい笑顔で
どうぞしっかり（愛語）
 - ★幸せを祈って
どうぞお先に（利行）
 - ★手をとりあって
どうぞごいっしょに（同事）
- 改めて気付かされた研修会でした。

特派布教巡回

六月二十一日(金)～二十八日(金)
北海道 天總寺住職 谷 龍嗣老師

六月二十一日	第十教区	米沢市	繁応院
六月二十二日	第九教区	米沢市	長松寺
六月二十三日	第八教区	小国町	多福寺
六月二十四日	第六教区	飯豊町	喜雲寺
六月二十五日	第五教区	白鷹町	金鐘寺
六月二十六日	第三教区	川西町	東陽寺
六月二十七日	第二教区	南陽市	高福寺
六月二十八日	第一教区	米沢市	瑞雲院



各教場にて記念撮影
(第8教区 多福寺)

本庁より派遣される特派布教師老師をお迎えして各教区ごとに教場をおき巡回しつつ管長告諭(御言葉)をふまえてのご法話をしていただくこの特派布教



法話中のひとコマ

巡回。谷老師ご自身の体験談をもとに老若男女が聞きやすく分かりやすいお話で、亡くなられた知人教員と今を生きる教え子の女学生、その子が初めて直面した環境と心の移り変わりがありました。
参加した檀信徒さんの中には、目に涙を浮かべながらお話に耳を傾けている方もいらっしゃいました。人の命の儂さと尊さ、そして人を思い慈しむ気持ちの温かさと尊さを改めて気づかされました。

寺族研修会

七月五日(金)
第九教区 米沢市林泉寺
四十三名参加

本年度より第二宗務所が東北管区寺族会事務局を担う事となり、参加者一同取り組みに熱の入った本年度の第一回寺族研修会。テーマは「安らぎのじぞうもじ」と題し仙台市・書家夕深(ゆうみ)さんをお招きし日頃の講演やイベント活動をお聞きしながら、参加者にも「じぞうもじ」の実践に取り組みました。
夕深(ゆうみ)さんの人柄や作品に触れながら、癒しと大きな刺激を受け、この時代が求める人との繋



じぞうもじ書家 夕深さん



青森県大安寺副住職 長岡老師



じぞうもじ教室中

がりを学ぶ機会になりました。また本庁派遣講師の長岡俊成老師より「もったいない」の心の精神について、私たちの日常の暮らしの中でどれだけフードロスがあるのかについて具体例をお聞きしました。
特に「もったいない」は「勿体無い」と書き「重み」や「尊さ」を意味する事を知り、地球資源に対する「敬重の念」を再認識する事となりました。

子ども禅のつどい

七月二十八日(日)〜二十九日(月)
米沢市桃源院 二十八名参加

子供達対象で夏休みにお寺に親しんで禅を学んでいただくお泊まり坐禅会「子ども禅のつどい」が、天気にも恵まれ当宗務所所長自坊の桃源院を会場として行われました。宗務所主催ではありますが宗務所布教師や教化指導員が中心となり取り仕切

坐禅、鳴らし物や境内の散策、薬石のカレーに夜の花火、ちょっと怖い本堂で布団作務をしてのお泊まり、早朝の坐禅からラジオ体操とゴミ拾いを兼ねた散歩。

典座としてチーム置賜の方々のお手伝いで美味しいカレーライスやお粥を子供達へ提供していただくこの企画。自分で作る御守り、本堂での

集まってくれた子供達の有り余る元気さと眩しい笑顔に、負けじと若手和尚さん方も我を忘れて駆け回り汗を流す。そんなあつという間の一泊二日ではありますが、少しでも子供達のひと夏の思い出として心に残って感じてくれたら幸いです。



朝食はお粥。アツアツだから気を付けて



坐禅体験中



みんなで食べるスイカは格別



檀信徒地方研修会

九月十七日(火)
三十四名参加
慈眼寺

「我が家と仏様」参加者
菅野太郎吉

我が家は私が物心ついた頃から、朝起きると顔を洗い、仏壇に手を合わせて、ご飯を食べる。食べ終わったら、お茶を添えて手を合わせる。こんな何気ない行動が一日の始まりです。そうすることで、安心して一日を過ごせるのです。特別なことではなく、自然に出来るのが宗教かなと思います。

我が家は、今は妻と二人暮らしになりました。子供達が三人いて、それぞれ家庭を持つてきています。週末になると孫を連れてきてくれます。家に入るなり「カンカンに行く」と言ってお参りに行ってきます。それを見る度に「自分達が今までやってきた事が、孫達にも自然と伝わっているんだなあ」と思いほっとしている昨今です。こんな何気ない事を何気なく出来る、そんなことを家庭に伝えていきたいと思っています。

この研修会に参加し三浦老師の話をお聞きして、自分の家でやっていたことが間違いでなかったことを感じました。



ルーシーダットン 福島県 阿部純子氏



落語 南陽市 おきらく亭 金遊氏



法話 白鷹町 蔵高院住職 三浦信高 老師

檀信徒本山研修会



参加者

第三教区

川西町常光院檀信徒

長谷川和郎

十月十六日(火)〜十七日(水)

大本山總持寺 三十四名参加

今年度新たに第三教区護持会
会長を拝命しました常光院の長
谷川です。教区の檀信徒を代表
するには余りにも若輩かつ浅学
非才の身ではありますが、何卒
宜しくお願い致します。

さて、昨年十月に会長就任の
機を捉え、宗務所主催の本山研

修会に初めて参加させていただ
きました。特に大本山總持寺に
おける厳格な禅の修行を目の当
たりにし、まさに心が洗われる
研修であり、今後の管内寺院護
持会との更なる相互連帯のもと、
宗門の教化活動に尽力する意を
新たにしました。

法話 大本山總持寺
出版室長
蔵重 宏昭 老師



本山精進料理



現職研修会

第六教区

飯豊町高傳寺

五十五名参加

十一月十九日(火)



関回老師



小川老師



秋老師

朝からあいにくの雨模様の中で開催された今年度の現職研修会。
「今年度の人権啓発にかかわる取組み、宗門の人材の取組みにつ
て」をテーマにまだまだ繊細で難しい人権学習について語って下
さった、福島県岳林寺住職関口孝俊老師。「漢詩(詩偈)に親しむ」
と題して沢山の手書き資料までご準備くださって、漢詩に対して熱
心にご指南いただきました。最上郡鮭川村多福院東堂小川邦昭老師。
現職研修会共通テーマ「仏祖正伝菩薩戒を学
ぶ(二)」、もともと難解で噛み砕いて説明し
ずらいとのこのテーマを、我々聞き手の為に
独自に紐解いてご教授いただきました福島県
昌建寺住職秋央老師。

このお三方をお招きしての今回の現職研修
会、どの講師老師もこちらに緊張させない気
さくな面持ちながらも博識のある方々であり
ました。それぞれテーマに対する熱意がひし
ひしと感じられ、聞き手にもそれが伝わって
きて中身の濃い、参加者にも良き学びのひと
時になったのではないのでしょうか。



全国人権主事 研修会報告

—三月五日〜七日 宗務庁—

年二回の標記研修会のうち、春に行われた研修会は東京の宗務庁にて行われました。

今年度の人権学習のテーマは、昨年度に引き続き「障害者への理解」や「合理的配慮」などについてです。この春には全寺院に『誰もが安心安全に來られる寺院に』という小冊子が配られました。この研修会ではそこに登場する障害者の方々や人権本部員のお話をお聞きしたり、デスカッションをしたりして、障害者の方たちの心を理解するというものでした。尚、人権本部では、



障害者の方にアドバイスを頂きながら

来年度は知的障害や発達障害についての学習を考えているそうです。

* * *

—十月八日〜十日、長野にて—

秋に行われた全国人権主事研修会は、長野県にて行われました。テーマは部落差別や差別戒名についてです。

初日は、差別戒名の改正の取り組みについて、人権本部から歴史や経過についての説明がありまし

た。江戸時代中期から昭和二十年頃までに被差別部落の檀信徒に授与された戒名で、「革」「畜」「僕」「隸」「穢」などの文字を入れて付けられたものです。人間の尊厳と平等の教えに反して僧らが授与してきた差別の象徴でもあります。因みに今、墓石や戒名の改正率は九十五%超になっております。

* * *

「いじめ」について思う事

この欄を書いております人権主事の私は、昭和五十三年から平成二十二年までの三十二年間小学校教員をしておりました。

大学では体育会合気道部に所属し、永平寺で二年半安居し帰ってきたばかりの私は、正義感？溢れる熱血教師？でありました。普段は優しい仏の道を説く私で、クラスは楽しいのが一番と、宿題や忘れ物をしたって、そのような事では怒りませんでした。しかし、人間の道に反した行為は絶対に許さないと「大魔神」のように怖くすることもありました。ですから「いじめ」は絶対に許しませんでした。なぜなら、そういう事があると学

校生活が嫌になってしまうからです。楽しい学校ではありません。

私の教員生活の記憶の中で、いじめが多く取沙汰されたのが昭和の終わり頃。それが収まってまた多くなったのはそれから十年後の事でした。平成に入ってから中は学校が荒れたりして、学校では何でもありという状態になってきたように感じます。今ではいじめや不登校が無くなるどころかさっぱり解決すらしていません。

学校では道徳教育や心の教育等を謳っていてもさっぱり効果なしです。なぜなのでしょう？

それは、親や教師の中にも心の育っていない人がいるからではないでしょうか。教師間でのいじめの動画が報道されましたが、自分たちが分からないようではいじめは解決できない問題であります。

また、大人間でもいじめがあるようですが、そこには自分の優越感欲しさや妬み嫉み等、自己保身が絡んでいるようにも思います。「自未得度先度他」の心の育成が望まれるところです。今こそ教育に携わる者は、道元禅師の教えを学び、その心を教育現場に生かして欲しいものだと思います。

四月二十二日(月)

梅花流第四十九回奉詠大会

▼四月二十二日、高畠町文化ホールまほらにおいて管内梅花流奉詠大会が行われました。今年度は管内の教区長様、宗務所役職員による登壇奉詠をさせていただきます。

いただきました。詠題は人権主事、詠頭は副所長で三宝御和讃を声高らかにお唱えし、大きな拍手を頂きました。

▼第二部は、

米沢落語長屋の田舎家、鯉志さん、粹亭壹歩さん、田舎家小若鯉さんの落語を楽しみました。



令和元年度

梅花事業

四月二十二日(月)

梅花流第四十九回奉詠大会

於 高畠町文化ホール

「まほら」

二百二十六名参加

五月十五日(水)

令和元年度梅花流全国奉詠大会 合同練習会

於 千眼寺

十二名参加

五月二十二日(水)

二十五日(土)

令和元年度梅花流

全国奉詠大会

於 グランメッセ熊本

二十一名参加

五月二十九日(水)

宗務所梅花役職員会

於 宗務所二階 会議室

十二名出席

五月二十二日(水)～二十五日(土)

梅花流全国奉讃大会

▼令和元年度梅花流全国奉詠大会が熊本県、グランメッセ熊本で開催されました。熊本県は三年前に熊本地震により甚大な被害を受けた地であります。熊本城など未だ復興なかばであり、避難生活を余儀なくされている方もいらっしゃいます。大会のテーマは「心ひとつに祈りの梅花」復興を心から願って心ひとつにしてお唱えし、きました。



六月十三日(木)～十六日(日)
六月十六日(日)～十九日(水)

梅花流特派師範講習会

今年度は大阪府安養寺御住職福原利行師範、福井県養徳庵御住職久我昌弘師範の二人の先生をお招きしての講習会でした。特に久我先生は今年特派師範になられたので、この山形が先生にとって、最初の特派講習の地となりました。
両先生共講習さんとの触れ合いを大事になされ、素晴らしい講習をして頂きました。



六月十二日(水)
梅花流特派師範・

詠範講習会

於 赤湯温泉「森の湯」
二十二名受講

六月十三日(木)～十六日(日)
梅花流特派講習会A日程

大阪府 安養寺住職

福原 利行 師範

六月十三日(木)②慈眼寺

六月十四日(金)⑩林高庵

六月十五日(土)③龍高院

六月十六日(日)①盛興院

六月十六日(日)～十九日(水)
梅花流特派講習会B日程

福井県 養徳庵住職

久我 昌弘 師範

六月十六日(日)⑥正法寺

六月十七日(月)⑧多福寺

六月十八日(火)⑤常安寺

六月十九日(水)③玉林寺

十二月六日(金)

梅花流特設検定会

於 卯の花温泉 はぎ苑

五十二名受検

特設検定会合格者

十二月六日(金)



●五級詠範合格者

二教区 綱正寺 宮崎 なみ子

●二級教範合格者

八教区 平等寺 西原 初子

八教区 平等寺 清野 久子

八教区 平等寺 高橋 登志子

八教区 平等寺 清野 いつ子

●三級教範合格者

三教区 宝昌寺 尾田 けい子

三教区 耕福寺 村上 福子

五教区 常安寺 鈴木 よし

●大教導合格者

三教区 宝昌寺 情野 美和子

三教区 耕福寺 佐藤 ふみ

三教区 耕福寺 五十嵐 瑞恵

三教区 耕福寺 岩崎 久美子

五教区 満福寺 鈴木 しげ

五教区 満福寺 飯澤 敏子

五教区 満福寺 手塚 タツ

●権大教導合格者

三教区 龍高院 小浅 敏子

三教区 龍高院 平久 子

三教区 龍高院 松田 正子

三教区 龍高院 小沼 孝子

三教区 龍高院 安部 あゆ子

五教区 瑞岩寺 今礼 子

●中教導合格者

三教区 瑞光寺 三瓶 喜久

三教区 瑞光寺 鈴木 すみ

三教区 瑞光寺 細谷 典子

三教区 瑞光寺 菊地 文子

三教区 瑞光寺 山木 洋子

五教区 蔵高院 安彦 和子

●権中教導合格者

三教区 宝昌寺 村岡 紀恵子

三教区 宝昌寺 佐藤 千秋

三教区 玉林寺 黒澤 玲子

五教区 満福寺 鈴木 よう子

●正教導合格者

一教区 東泉院 安藤 貞子

一教区 東泉院 金子 八重

二教区 慶雲寺 沖田 文子

二教区 慶雲寺 川合 正子

二教区 慶雲寺 高橋 美佐子

二教区 慶雲寺 大澤 美根子

●権正教導合格者

二教区 綱正寺 鈴木 みえ子

二教区 綱正寺 竹田 里美

二教区 綱正寺 須貝 ひさ子

二教区 綱正寺 小林 玉子

二教区 慶雲寺 濱田 清子

三教区 耕福寺 沼澤 千代子

●教導合格者

二教区 綱正寺 高橋 さち子

二教区 綱正寺 南條 和子

二教区 綱正寺 星智 代

二教区 綱正寺 長澤 むつ子

二教区 綱正寺 佐藤 恵子

二教区 綱正寺 島貫 昌子

二教区 綱正寺 佐藤 恵美子

五教区 洞松寺 椎名 隆

おめでとう
ございます!



会場 卯の花温泉 はぎ苑

管内の動き

(平成三十年十二月一日) 令和元年十一月三十日の出来事を掲載 ※敬称略

◎住職任命

⑩長慶寺 村田 恒正

平成三十年十二月 四日

①瑞岩寺 宮田 啓禪

平成三十一年三月 五日

③積善寺 武田 友祥

令和 元 年九月 四日

⑨真福寺 伊藤 嵩博

令和 元 年九月 四日

⑨海應院 西山 良淳

令和 元 年十月 八日

◎兼務住職任命(内は本務寺)

⑩高福寺 村田 恒正

(⑩長慶寺)

平成三十年十二月 四日

⑤慶国寺 迎田 俊教

(⑤永泉寺)

平成三十一年一月 八日

⑤龍泉寺 小野 卓也

(⑤洞松寺)

平成三十一年一月十七日

⑥清林寺 嶋津 憲英

(③永松寺)

平成三十一年一月二十八日

①福泉庵 英 元弘

(①桃源院)

平成三十一年二月 六日

⑥高國寺 金子 堯信(西来院)

令和 元 年八月十九日

⑧洞源寺 新澤 謙一

(⑧長福寺)

令和 元 年八月二十八日

①松岩院 佐藤 俊成

(②高福寺)

令和 元 年九月十七日

①耕圓寺 渡部 俊道

(⑨常信庵)

令和 元 年十月 八日

◎副住職任命

⑨高岩寺 山口 揚嗣

令和 元 年六月 四日

◎黄恩衣被着

⑤瑞岩寺 菊地 豊宗

平成三十一年四月 二日

◎緋恩衣被着

⑨常安寺 漆山 知道

平成三十一年二月 六日

⑤龍澤寺 梅津 晶一

平成三十一年四月 二日

②盛興院 柴田 清悦

令和 元 年六月 四日

◎色衣被着

⑨高岩寺 山口 揚嗣

令和 元 年六月 四日

⑨真福寺 伊藤 嵩博

令和 元 年九月 四日

◎住職勤続四〇年表彰

②寶高院 大沼 眞而

平成三十一年四月 一日

◎住職勤続五〇年表彰

⑧長福寺 新澤 謙一

平成三十一年四月 一日

◎住職勤続六〇年表彰

③玉林寺 鈴木 孝顕

令和 元 年十月 一日

◎住職勤続六五年表彰

③積善寺 武田 大雄

令和 元 年十月 一日

◎教師補任(昇等補任含む)

⑨常安寺 漆山 知道 正教師

平成三十一年二月 五日

⑤瑞岩寺 菊地 豊宗

権大教師

平成三十一年二月 六日

⑤龍澤寺 梅津 晶一 正教師

平成三十一年三月二十八日

②盛興院 柴田 清悦 正教師

令和 元 年五月二十八日

⑤洞松寺 小野 卓也 正教師

令和 元 年五月二十八日

③寶昌寺 金原 円応

二等教師

⑨真福寺 伊藤 嵩博

二等教師補

令和 元 年九月 四日

①西来院 金子 瑞法

一等教師

令和 元 年十月 七日

①西来院 金子 裕泉

一等教師

令和 元 年十一月十九日

◎寺族登録

- ②金竜寺 大沼 郁代
令和 元 年 五月十三日

◎准教師補任

- ⑩松原寺 越中谷順子
平成三十一年二月十三日
- ⑧光岳寺 鈴木 美香
令和 元 年 五月 十日
- ⑤永泉寺 迎田みゆき
令和 元 年十一月二十六日

◎得度

- ⑨常慶院 金藤 圭佑
平成三十一年三月二十一日
- ⑤瑞龍院 寺澤 征司
平成三十一年四月二十八日
- ⑩龍言寺 長澤 朋史
令和 元 年 七月二十九日

◎転衣

- ①満福寺 佐藤 亮宗
平成三十一年一月 十日
- ①西来院 金子 瑞法
令和 元 年 六月二十五日

◎瑞世

- ①満福寺 佐藤 亮宗
平成三十一年二月 十日

- ①西来院 金子 瑞法
令和 元 年 八月 七日

◎遷化(日付は遷化日)

- ⑧盤昌寺 大法 良典
平成三十年十二月 七日
- ⑤高円寺 高橋 俊龍
平成三十一年二月十八日
- ①松岩院 佐藤 道雄
平成三十一年三月 一日
- ⑨海応院 西山 法龍
平成三十一年三月 六日
- ⑥普濟寺 小川 輝好
平成三十一年三月二十七日
- ①瑞岩寺 宮田 元乗
令和 元 年 五月 一日
- ①耕圓寺 雲井 文雄
令和 元 年 七月 三日

管内役職員

令和元年五月十一日、本庁辞令により今期(令和元年五月～令和五年四月)の教区長が選任されました。

また、曹洞宗山形県第二宗務所における各役職員も新たに選任されました。

◎教区長

- ①清林寺 鈴木 友寛
- ②盛興院 柴田 清悦
- ③東陽寺 西山 晋隆
- ⑤永泉寺 迎田 俊教
- ⑥長泉寺 大城 敬親
- ⑧洞泉寺 加藤 光昭
- ⑨長泉寺 菅原 延昭
- ⑩龍言寺 長澤 昭義

◎監査委員

- ②盛興院 柴田 清悦
- ⑤龍澤寺 梅津 晶一

◎人権擁護推進委員

- ②楊林寺 大草 弘純
- ⑨正円寺 塚本 祖玄

◎護持会長

- ①清林寺 安部 喜一
- ②盛興院 小関 文男
- ③常光院 長谷川和郎
- ⑤高円寺 金田 捷夫
- ⑥喜雲寺 小松 薫嗣
- ⑧龍正寺 渡部錬太郎
- ⑨透林寺 穴戸 新一
- ⑩繁応院 羽生田貞夫

編集後記

年度途中より「平成」から「令和」へと「元号」が変わる歴史的転換期に遭遇し、案内文章や会議の資料にうっかり「平成」の日時を記載する事もしばし。それでもいつの間にか「令和」に馴染んで参りました。特に本年令和二年は、昨年以上に東北管区事務局として事業の取組が多い年です。「和を以つて貴し」の一年になるよう宗務所一丸で参りましょう。

